



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops

大
大
吉

Chartered
10th. July 1994

8月号

第18巻
第2号

通巻206号

東田吉未会長主題： ONE STEP BEYOND!
— ROAD TO TOP OF TOPS —

国際主題 Audere est facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
アジア区主題 Audere est facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
西日本区主題 ワイズの原点・愛と奉仕で社会に貢献 ー理想を目指して変革と行動！ー
京都部主題 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ー思いやりと感謝の気持ちで粘り強くー
メネット主題 「若者に夢と希望を！」 メネットの愛で豊かな心を

西浦功Y's 選

会長：東田吉未
副会長：新山兼市
牧野篤文
書記：乙坂優次
宮尾勝己
会計：高坂幸征
廣田隆治



人はパンだけで生きるものではない。
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。

マタイによる福音



久しぶりのYサ委員長

YMCAサービス・ASF委員長 藤田正康

何年かぶりの委員長を拝命しました、先日懇談会に出席し、行事一覧の多さにあらためて驚きました。

トップスが協力させていただいていることはほんの一端なのです、ですから逆に言えば選択肢も多はず新たな模索も、今までの分のリストラも可能なのです。今期そんなことも含めてできればな、と思いい新たに懇談会に臨みました。

様々な議論が出るのではと思いましたがその雰囲気はなく行事協力をお願いを黙って実行すればという雰囲気でした、そこには何の熱意もなく淋しい思いを持ちました。意見のぶつかり合いが気持ちを込めた協力ができるのではないかと、、、。反省と検証の意味合いこめてぜひ期首だけでなく期末に懇談会を開催していただき各クラブの熱い気持ちをお聞きしたい、またトップスメンバーにも一つ一つの行事の目的、意味など理解をしていただく努力を惜しまず、ただ参加アピールに終始せずにいけたらと、思う今日この頃です。

おまけの一言 <あとはいわない・いいたくない> 最近ハマッている言葉です

エコ標語

捨てるほど、資源があるの？と孫が問う

笠井俊明Y's 選

8月強調月間

Youth
Activities

ユースと共にワイズの世界を拓けましょう！



The Y's Men's Club of
Kyoto Tops

	例会出席	BFポイント	スマイル	ファンド	献血	
7 月 報 告	メンバー数 (広義会員2名含む)	34名	現金 0円	7月 0円	7月現金 3,765円	7月 0cc
	出席メンバー	31名	切手 0円			
	ゲスト	3名				
	メネット	0名				
	メーキャップ	3名				
	出席率	100%	累計 円	累計 0円	収益累計 3,765円	累計 0cc

キックオフ例会 (7月例会)

日時: 2011年7月13日

場所: ウェスティン都ホテル京都

巴山直久Y's

キックオフ例会は東田会長期のはじめて行われる例会であります。会場では席の配置も変わり、会長をはじめ三役さんの席順も、見慣れない新鮮な光景でした。

まず開会点鐘ですが、早くも新会長に違和感を覚えるメンバーから期待を込めた笑いが起こります。1年間会長を務める重責をわかつている人々による愛情のあらわれであり、メンバーが会長の事を、自分の事のように思っている為に生じる照れなかなと思われました。ワイズソング、ゲストの紹介に続いて、会長挨拶です。ピーター・ドラッカーを引合いに出されて、「マンネリ化の防止に努めたい」との事。まっすぐな人柄を思わせる挨拶でした。

続いて、三役挨拶となります。にいやま副会長「地位が人を造る」、牧野副会長「人間力の輪を広める」、乙坂書記「HP活用に関する苦言」、宮尾書記「委員会の活動等が人として成長できる」、高坂会計「今日から改めて決意を持ちがんばっていく」、廣田会計「活動を通じてよい影響を受けていきたい」、自分はあまり長く話できないと言いながら予定の3分を超える、三役さん達の心のこもった挨拶となりました。紙面の関係上、挨拶内容については要点のみを記載しております。要点がずれていれば、三役さんは私の方に連絡下さい。

次は委嘱状伝達式です。先輩方のクラブに対する真摯な姿勢に脱帽・感心・尊敬・驚愕を覚える次第です。こちらでも、スピーチいただきました。あらやまワイズ「出会いの中で人間的にも社会的にも成長できる活動をしていきたい」、乙坂ワイズ「各クラブの情報を集めて、発信していきます」、笠井ワイズ「ゆっくりと活動について勉強していきます」、倉ワイズ「交流した内容をトップスの活動に反映していきたい」、またまた、熱い決意を聞かせてもらう事となりました。あんなふうになれたらと思う大人が同じクラブにいる事は、励みになります。

そして食前感謝、山田主事からは「天井から水漏れ」のお話を聞かせてもらいました。食事の後、総会は滞りなく進行し、全ての議案は承認されました。予定より30分(メンバーの積極性が生んだ発展的)延長で、例会は終了しました。



EMC懇談会

日時: 2011年7月29日

場所: メルパルク京都 8F

河原祥博Y's



「トップス流EMC」という言葉が思い浮かんだのは丁度京都部EMC事業懇談会に参加し、京都部・西日本区でEMCに携わる方々や各クラブの代表のお話が終わり大どりに我がトップスクラブの前EMC委員長の牧野Y'sが会員獲得について語られた時です。

牧野Y'sがEMC委員長になりたての時まず自分自身が入会した時をかえりみて、誘い文句はアッサリと、例会ではコツテリと癖のある?メンバーの皆様の温かい人間力に触れ入会を決意されたと言われてました。

実は私も一年少し前に同じパターンで入会をした事に気付きました。これがまさしく「トップス流EMC」なんだと!!いつの時代もやはり一人一人、人間同士のつながりが大切で、形はそれぞれ異なるかもしれないが個々の持つ力が人を誘い、仲間となっていくのだと思いました。

現在34名、今期目標55名又それ以上に仲間が増えた時にやってくるトップスクラブの未来の姿を想像したのはたして私と現EMC委員長の舞田Y'sだけだったのだろうか?牧野Y'sのお話が終わると同時に一人でも多くの仲間を作りたい衝動に駆られました。

追伸;トップス流EMCの奥義その① ○○君!(○○さん!)シュツとしたスーツ着て、ホテルで旨いもんでも食べにいいか?とアッサリと誘い、それから後はメンバーの波にコツテリ揉まれたらOK!です。



東日本大震災復興支援ボランティア パート1

京都YMCA災害支援バスが29名のボランティアを乗せ仙台へ

日時: 2011年7月15~18日

場所: 宮城県亶理郡山元町

船木順司Y's



7月16日(土)、17日(日)29名(平均年齢37歳)が宮城県亶理郡山元町にてボランティアワークを行いました。15日夜、京都を20時出発、バスの中で仮眠をとり16日は、山元町山下駅近くの住宅地での側溝の泥掻きや障害物の除去を行いました。猛暑の中、6チームが班ごとに汗まみれになりながら、泥やゴミを丁寧に取り除き見事に側溝を甦らせました。慣れない手つきで始まった作業も時間が経つにつれ手慣れた作業に、参加メンバーも作業を通し打ち解け合い、見事なチームワークにより1日目のワーク終了。

翌日はイチゴ農園のハウスの中の泥撤去を行いました。炎天下の中、ハウス内と言う過酷な条件でメンバーも悲鳴を上げる暑さ、40度は超えるであろうハウス内でのワークは昨日の疲労が残る中で行われました。メンバーは昨日作り上げたチームワークで仲間を気遣いながら見事にハウス内の清掃をやり遂げ2日目のワークを終了致しました。

2泊4日と言う強行軍での活動、遠くは広島から夜行バスで京都へ来られ、そのままボランティアバスへ、兵庫や京都北部からと多くの方が復興支援活動に参加いただきました。

それぞれが様々な思いを持ちながら。

京都の地に於いてニュースやマスコミ報道で震災の悲惨な状況を自分なりに感じ想像しておりましたが実際に被災地に立った時全く違った感情が私を支配した。

それは……つづく

あなたの会社のエコなところ

千賀俊男Y's

「合理的に動く」＝「無駄な動きをしない」＝「エコ」(真実)と、私は考えています。顧問先から質問の電話がかかって来てその対応に追われてしまうことが良くあります。それは、その案件に関する事前説明に不備があったのです。与えられた仕事を理解する能力、そして相手との双方向の自然なコミュニケーション能力、この二つの能力がバランス良く整えば究極の「エコ」が達成されます。現在、私の事務所では必要に迫られて、全員一丸となってこの事に取り組んでいる途中です。



廣田隆治Y's

事務所では54本の蛍光灯、5台のパソコンが朝から晩まで稼働しており、近所では不夜城と呼ばれていたのですが、節電という社会現象に便乗して、蛍光灯は3分の1スイッチを切っています。(蛍光灯を外すだけでは実は節電になりません)エアコンの効きも随分良くなりました。普段当たり前に行っていることも、たまに再チェックする必要があるなあと実感しています。



写真は語る

宮尾勝己Y's



トップスクラブの皆さんこんにちは！！ 写真は語るということで今回、掲載して頂きますが…これ誰かわかりますよねー？ 兄弟でどこかで遊んでいる写真…回転木馬に乗ってみよーにニタついている写真…おやじとトライアングルで直立不動でかまっている写真…

全て記憶にないんです…(*=*)

原稿依頼をもらって母親に写真を出して～と頼みますと、ぞくぞくといろんな写真が出てきました。懐かしいという思いは無く、ただただ兄弟仲が良かったんやな～とか、オヤジは男前やな～とか、いろんな処へ遊びに連れて行ってもらったんだと…そして今はアラフィフティーに突入…生まれたころと言えば日本は急速な高度経済成長期に入ったころなのか…長屋に住んで豆電球が天井にぶら下っていた事やとなりのオッサンとおやじが喧嘩をしていたのを思い出します。(何が原因なのか不明)

夏はエアコンもなく蚊帳の中で寝させてもらい母親が団扇であおいでくれていたのもなんとなく思い出します。

幼いころの写真をこうして繁々と見ることもイイですねー！！

僕の崇拜するオヤジは樹脂加工の製造の商売をしまして…小学生のころから両親の仕事場でよく遊んでいました。経済成長とともに仕事も忙しくなり…時代の流れと共に衰退していったのでございます。その背中を見て育ってきた兄弟は親との業種は違えど…各自で同業種の事業を営んでおり、困った時には助け合い今日に至っております。

今は亡き親から貰った体を大切に、思いを継承しつつ又自分の子供たちにも我が背中を見てもらいたいと思っているのでございます。

クラブの皆さんもリラックスして厳しい時代を乗り越えてくださいますようお願いしております。

乙坂優次Y's



40年程前のスレンダーな私です。頭の毛もふさふさで長い髪を風になびかせながら颯爽と独身貴族を満喫！と言いたいところですが、既に結婚し長男が誕生した頃です。体重67kg、身長174.5cm、ウエスト71cm、我ながら惚れ惚れする容姿で街中を闊歩していました。この写真は会社の慰安旅行でグアム島に行ったときのものです。最近では東南アジアが主な活動拠点になっていますが、その頃はグアムやサイパンが好きで何度か行った記憶が有ります。一度長男(8歳)を連れて行った時に、子供をダシに20歳前後のお嬢さん3人をゲットした事も今では懐かしい思い出となっています。滋賀県の看護学校の生徒さんでした。でも、皆さんが想像するような事は無かったですよ。レンタカーを使って買物や食事、プライベートビーチでの語らい等お友達感覚のお付き合い、今から思えば私も純情だったのですね。エッ奥様は？って、奥様は3人目のご懐妊でお留守番でした。

お話をこの写真に戻しましょう。この頃のグアムは田舎の素朴な雰囲気漂う島でした。散歩中に住民の家の窓から中を覗くと美味しそうな果物とケーキがテーブル上に、女子社員がおもわず「美味しそう！」と大きな声、すると住民のご婦人が出てきて、私達に「どうぞ」と振舞ってくれたのです。他の家でも、庭木の果実を頂きました。どちらも美味しく心癒される思いを感じました。

1. ワイズワーク感謝!

6月26日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月3・10日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。

また、9月4日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願い致します。

2. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 9月8日(木)から受付
電話(075)231-4388

スイミング・体育 9月8日(木)から受付
電話(075)255-4709

3. 「第1回AIDS文化フォーラムin京都」～エイズを知ろう エイズで学ぼう～

主催:AIDS文化フォーラム in 京都 共催:京都府、京都市事務局、京都YMCA(事務局長 神崎)

1)8月28日(日)10:00～17:00(予定) 場所:花園大学 入場料:無料

A.「さらば、哀しみの青春——夜回り先生からのメッセージ」
講師 水谷修先生(花園大学客員教授、榊水谷青少年問題研究所)

B.「赤ちゃんが教えてくれたHIV ～妊娠時の検査でHIV感染がわかって～」

講師 石田心さん・岩室紳也先生

HIV/AIDSは他人ごとと置いていたら…。感染告知から受け入れ、伝え、そして子育てに奮闘するまでを主治医と振り返ります。

C.フロア参加型講演

「若者向け性感染症予防教育のあり方」～親、教師、保健師に共通する目標とは～

講師 岩室紳也先生
(公益社団法人地域医療振興協会、ヘルスプロモーション研究センター長)

2)10月1日(土)10:00～18:00、2日(日)10:00～16:30

場所:龍谷大学大宮学舎東翼 入場料:無料
講演、ワークショップなど(若者の視点から 文化の視点から 陽性者の視点から 医療の視点から 教育の視点から セクシャリティーの多様性を理解するという視点から 等)

4. ボランティアセミナーのご案内

A. ちょこっとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会

障がい者も高齢者も子どもも、だれもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。

いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることには大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がされげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。

今回は、京都YMCA国際福祉専門学校の講師でもある松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また望ましいサポートについて語っていただきます。

講師 松永信也氏〔京都福祉専門学校・京都YMCA国際福祉専門学校非常勤講師・(社)京都府視覚障害者協会理事〕

日時 8月27日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円 定員 30名(申込順)

B. がん患者さんとそのご家族へ 第55回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 8月20日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円

※ A・Bともお申込は京都YMCA

電話(075)231-4388またはvb@kyotoymca.or.jp

スケジュール 8・9月

8月 5～7日 アジア大会 台湾
7日(日)被災されている方のファミリーディキャンプ
6～7日 ファミリー海底アウトドア
10日(水)飲め飲め!ビール例会
20～21日 青い空と白い雲のキャンプ
24日(水)役員会
27日(土)京都部CS環境委員会
28日(日)中部部会
28日(日)エイズ文化フォーラム

9月 4日(日)リトセン秋の準備ワーク
9日(金)交流懇談会
11日(日)第二例会 京都部部会
14日(水)部長公式訪問例会
16日(金)広報懇親会
17日(土)中西部部会
23日(金)阪和部部会
28日(水)役員会

第16回 京都部部会のご案内

日時:2011年9月11日 日曜日 10:00～16:00

場所:福知山 三段池公園 総合体育館

登録費:メンバー 6,000円 メネット6,000円

コメット 高校生以上 6,000円

小・中学生 3,000円

幼児以下 無料

バス料金:2,100円

(京都駅八条口⇄会場の往復料金/
大人・子ども 同一料金)

※片道だけでも利用できますが、座席の都合上料金は往復料金を頂戴いたしますのでご了承下さい。

バス乗車受付開始7時30分

最終出発 8時 詳細は後日お知らせ

いたします。

また、自家用車乗合いでご来場いただいても結構です。

持ち物:上履き タオル 着替え

(ユニカール 卓球 バスケット 複合リレー
に出場する方は必ず上履着用)

服装:競技に参加される方は、動きやすい服装でお願いします。

会場には、男女別更衣室の準備がございます。シャワー室もご利用いただけます。

競技種目:ユニカール 卓球 バスケット 玉入れ
紙ひこうき飛ばし 複合リレー 応援合戦